

# 令和2年度 産業経済部長「政策宣言」中間報告

産業経済部長 谷口正浩

## ○ 令和2年度重要事業

<b>事業名</b>	<b>新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業等への支援</b>
<b>目標</b>	同感染症の影響により経営に多大な影響を受けている中小企業等（小規模事業者を含む。）の資金繰り等支援策として、市独自の助成制度を実施します。
<b>進捗状況</b>	市独自に、県制度融資に係る信用保証料の全額助成制度や、国の持続化給付金の給付対象とならない中小企業等に対する支援金給付制度を新設するなど、厳しい経営環境に立たされている中小企業・個人事業者を支援しました。その他影響が著しい飲食店への支援策として、各世帯に1,000円分のクーポン券「うまいもん券」を配布して利用の啓発を図るなど多様な支援に努めました。
<b>今後の対応</b>	事業の見直しや新たな生活様式、多様な働き方に沿った事業展開等を行う際の費用などに幅広く活用できる「中小企業等事業向上補助金」の新設や「うまいもん券」第2弾の実施など更なる支援を行います。

<b>事業名</b>	<b>観光客受け入れ環境の充実</b>
<b>目標</b>	クロスベイ新湊は、観光客への観光情報の提供はもとより、公共交通ターミナルとして市内移動の拠点となることから、これを軸とし、内川周辺ほかベイエリア、更には、市全体へ波及できるように観光客の受け入れ環境の充実を図ります。
<b>進捗状況</b>	内川周辺の見どころや周辺店舗を紹介した冊子「内川さんぽ」を改訂し、内川周辺のまち歩きのための情報発信を行うとともに、クロスベイ新湊内に冊子と同様の周辺マップと店舗紹介ブースを設置しました。
<b>今後の対応</b>	引き続き観光協会と連携し、クロスベイ新湊において、観光客への情報発信の充実を図ります。

<b>事業名</b>	<b>大区画ほ場整備の推進</b>
<b>目標</b>	生産性の向上に資するICT等を活用したスマート農業が展開できるよう「ほ場の大区画化」を推進し、農業の持続的な発展と農村環境の保全を図ります。
<b>進捗状況</b>	水戸田地区については、工事が終了し現在換地作業中です。また、島地区については事業採択に向け事業調査が終了し、来年度の国の事業採択に向け準備を行いました。 加えて、作道地区においては、令和4年度の事業採択に向け調査を開始しました。
<b>今後の対応</b>	ほ場整備を要望する地区が多くあり、引き続き生産性の向上や労働の負担軽減に向け、勉強会等を行いながら、積極的に支援します。